

新しい社会の実現を！

鳥羽市長 木田久主一

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては「日本の国が平和で豊かな国になってほしい」という思いで新年を迎えられたことでしょう。

しかし、現実はそのようではないことを思い知らされる事柄が相次いだ昨年でありました。

島の領有権をめぐる争いが隣の韓国、中国との間で起こりました。デモなどに参加した人々の気性の激しさにへきえきした人も多かったです。のではないのでしょうか。それに引きかえ、日本人は段々とおとなしくなっているような印象があります。さちんと列を作って並ぶ被災者の姿などは、日本人の美徳として外国において報道されました。しかし、反面、日本人から元気が失われてきているようにも思います。そうやってゆくことの最も大きな要因のひとつは、子どもや若者の数が減っていることではないでしょうか。

また、日本の企業や技術が容易に海外に流出していくことも大きな問題であります。円高、デフレだからどうにもならないという固定した考えではなく、国内に雇用を確保する方策は必ずあると思います。「個人や企業の功成って、万民枯れる」という今の状況を打ち破ってゆく必要があると思います。

若い人たちが子どもを産み、自分の家庭に夢をもてる社会。
子どもを社会全体で育てる社会。

日本人が日本経済や技術に自信をもてる社会。

このような社会を実現してくれる新しい政治が新政権のもとで進んでゆくことを期待しています。

鳥羽市においても、佐田浜地区の賑わいづくり、森の木を使ったエネルギー利用など新たな取り組みを進めてまいります。

市民の皆様にとりまして平和で豊かな一年となりますようお祈りいたします。



新春を迎えるにあたって

鳥羽市議会議長 坂倉紀男

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私も議長に就任いたしましたして三年目の半ばを過ぎようとしておりますが、新春を迎え、鳥羽市のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

歳月は人を待たずと申しますが、あの東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所の事故などを受け、あらためて市民の安全、安心な暮らしを守るための防災対策の重要性を痛感しているところであります。

本市におきましては、この防災対策の推進をはじめ、マリントウン第二期工事の継続中止に伴う佐田浜再開発、子育て支援の推進、中山間地域の森林環境と観光をつなげたい思いで、加茂地区における「森林環境創造事業」が実行に移されて四年目が終わろうとしています。市議会といたしましても、これらの課題に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

市議会では、「鳥羽市議会基本条例」のもと、町内会に出向き、地域の皆さんと親しく懇談し、意見交換を重ねてまいりました。

市民の皆様にとって、より身近な議会、開かれた議会の実現を通じて「議会の見える度」をさらに効果的に実行しながら、議会機能をさらに充実強化していくために努力し、市議会の改革、活性化に引き続き取り組むとともに、様々な課題の解決に向け、市民の皆様との間、議会議員との間でも議論を重ね、すべての市民福祉と市政発展のため、誠心誠意尽くしてまいります。

本年が皆様にとりまして実り多く、飛躍の年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。



謹賀新年